

第 29 回技術研究発表会 梗概 <Ⅱプロジェクト・技術報告>

【発表No. E03】

報告No.	D06
タイトル	計画検討への VR 援用と立体データによるまちづくりマネジメント
所属・名前	パナソニック株式会社 長濱 龍一郎
キーワード	① 計画検討 ② まちづくり ③ VR
<p>建築や土木設計分野ではBIMやCIMなどの技術導入による設計ノベーションの兆しがみられ、これに伴い設計者の事業者への説明の質も高まると期待されている。他方、都市開発・まちづくりについて事業者は、計画の具体化において事業者なりの視点を多く持ち、設計過程で主体的にレビューできるツールが潜在的に求められていた。この視点から弊社では、計画検討時に事業者自身が主体的に利用するVRを開発し提供した。これらは事業者自身が計画をレビューし、設計コミュニケーションをはかり、合意形成や意思決定を行うプラットフォームとなった。これらの成果は16年間で約1000件にのぼる。多くのプロジェクトを通じて構築されたデータ空間は、いまま継続的、協調的に活用されるものも多く、そのストックデータはまちづくりマネジメントのみならず、プロモーションやガイダンスなど多様な活用に流用されようとしている。今回の発表ではこれらについて具体的事例に基づいて報告する。</p>	